



第74期
(2022年3月期)
決算説明資料

2022年 5月13日

トーイン株式会社
証券コード：7923



第74期 決算概要

注意

- ① 本資料に記載の売上高の金額には、消費税等は含まれておりません。
- ② 本資料に記載の金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
- ③ 本資料に記載の前年比、構成比等の数値は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

総括

当連結会計年度の業績については、包装資材事業において、営業活動が訪問型営業からリモート営業主体へと大きく変化中、引き続き当社加飾技術や環境対応資材を中心とした企画提案型の営業活動を継続的に実施いたしました。その結果、国内の売上は、食品分野が底堅く推移し、化粧品分野に若干の持ち直しが見られたほか、日用品分野においても増収となり前連結会計年度（以下、「前期」という。）比で増加し、10,302百万円（前期比1.5%増）となりました。

精密塗工事業においては、半導体関連部材の世界的な需要の回復に支えられて増加傾向となり、売上高は775百万円（前期比11.3%増）となりました。

その他事業においては、受託包装における積極的な営業活動が奏功して、日用品分野を中心に増収となり、売上高は441百万円（前期比9.6%増）となりました。

この結果、グループ全体の売上高は11,518百万円（前期比2.4%増）となりました。

利益面では、包装資材事業において、引き続き高効率機械の安定稼働、生産管理体制の強化、品質管理・予防保全策の再徹底などの施策を推進したものの、エネルギーや諸資材価格、海外現地法人における主材料価格が高騰したこと、国内での新型コロナウイルスオミクロン株の感染急拡大を受け、当社の感染対策をより強化させたことで生産効率を低下させたことなどを受け減益となりました。

精密塗工事業においては、売上の増加に加え、多能工育成による効率化、フレキシブルな生産体制の構築、製造コスト管理の徹底などの諸施策を推進したことなどにより増益となりました。

その他事業においては、受託包装における柔軟性のある生産体制の編成などによる採算性の確保に努めたことで増益となりました。

この結果、当期は営業損失97百万円（前期は5百万円の営業利益）、経常損失57百万円（前期は72百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する当期純損失は62百万円（前期は118百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

<当年度のトピックス>

【営業面】

- 環境に配慮したトーンオリジナルペーパーTOFを追加
TOF・・・紙の風合いを生かした質感を持つFSC認証紙
- トーンオリジナルペーパー「SKバガスCoC」を商標登録
- フィルムレスで環境にやさしい軟包装をラインアップ
- 世界最大規模の化粧品見本市のオンライン展示会「コスモプロフアジア」に出展（2021年11月8～16日）

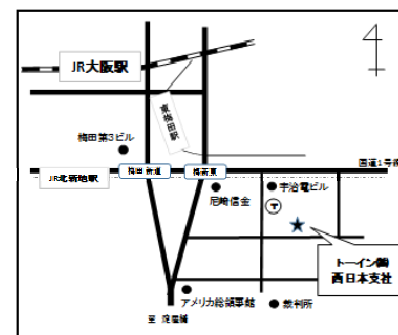
【技術面】

- スペシャルボックス（トーンオリジナルの技術を詰め込んだ提案用パッケージ）NO.7を完成させ、顧客への提案を開始
- チェンジング印刷（オフセット/シルク）の国際特許出願
- 段ボール素材を使用したパッケージ（コーセー様「雪肌精クリアウェルネス」）が「パッケージデザイン賞」（公益社団法人日本包装技術協会 主催）を受賞

【その他】

- 西日本支社を移転（2021年10月～）
＜移転先＞ 〒530-0047 大阪市北区西天満4-8-2
- 「中期経営計画2024」を策定（2021年12月）
<https://www.toin.co.jp/ir/index.html>
- 東京証券取引所スタンダード市場に上場（2022年4月～）
- 九州事業所（福岡県）を開設（2022年4月～）

西日本支社移転先



中期経営計画2024



第74期 連結損益計算書

(単位：百万円)

	第73期		第74期		対前期比	備 考
		%		%		
売 上 高	11,245	100.0	11,518	100.0	273	
売 上 原 価	9,445	84.0	9,732	84.5	287	
売 上 総 利 益	1,800	16.0	1,786	15.5	△14	
販売費及び一般管理費	1,794	16.0	1,883	16.4	89	
営 業 利 益	5	0.1	△97	△0.8	△103	
営 業 外 収 益	48	0.4	89	0.8	40	
営 業 外 費 用	127	1.1	49	0.4	△77	
経 常 利 益	△72	△0.6	△57	△0.5	15	
特 別 利 益	268	2.4	0	0.0	△267	
特 別 損 失	6	0.1	5	0.0	△1	
税金等調整前当期純利益	189	1.7	△62	△0.5	△251	
法 人 税 等	74	0.7	3	0.0	△71	
当 期 純 利 益	114	1.0	△65	△0.6	△180	
非支配株主に帰属する 当 期 純 利 益	△3	△0.0	△2	△0.0	1	
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	118	1.1	△62	△0.5	△181	

第74期 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	第73期		第74期		対前期比	備 考
		%		%		
流動資産	7,319	40.4	7,582	42.4	263	受取手形及び売掛金 126 電子記録債権 162
固定資産	10,780	59.6	10,317	57.6	△462	
有形固定資産	7,773	43.0	7,350	41.0	△423	機械及び装置 △ 434
無形固定資産	16	0.1	18	0.1	1	
投資その他の資産	2,990	16.5	2,949	16.5	△40	投資有価証券（関係会社株式含む） △69
<<資産合計>>	18,099	100.0	17,900	100.0	△199	
流動負債	5,109	28.2	5,093	28.5	△15	
固定負債	3,715	20.6	3,597	20.1	△118	長期借入金 △113
<<負債合計>>	8,825	48.8	8,690	48.6	△134	
株主資本	8,154	45.1	8,040	44.9	△114	
資本金	2,244	12.4	2,244	12.5	—	
資本剰余金	2,901	16.0	2,901	16.2	—	
利益剰余金	3,720	20.6	3,605	20.1	△114	
自己株式	△ 711	△ 3.9	△ 711	△ 4.0	—	
その他の包括利益累計額	1,075	5.9	1,128	6.3	52	その他有価証券評価差額金 △54 為替換算調整勘定 99
非支配株主持分	43	0.2	41	0.2	△2	
<<純資産合計>>	9,274	51.2	9,209	51.4	△64	
<<負債 純資産合計>>	18,099	100.0	17,900	100.0	△199	

第74期 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

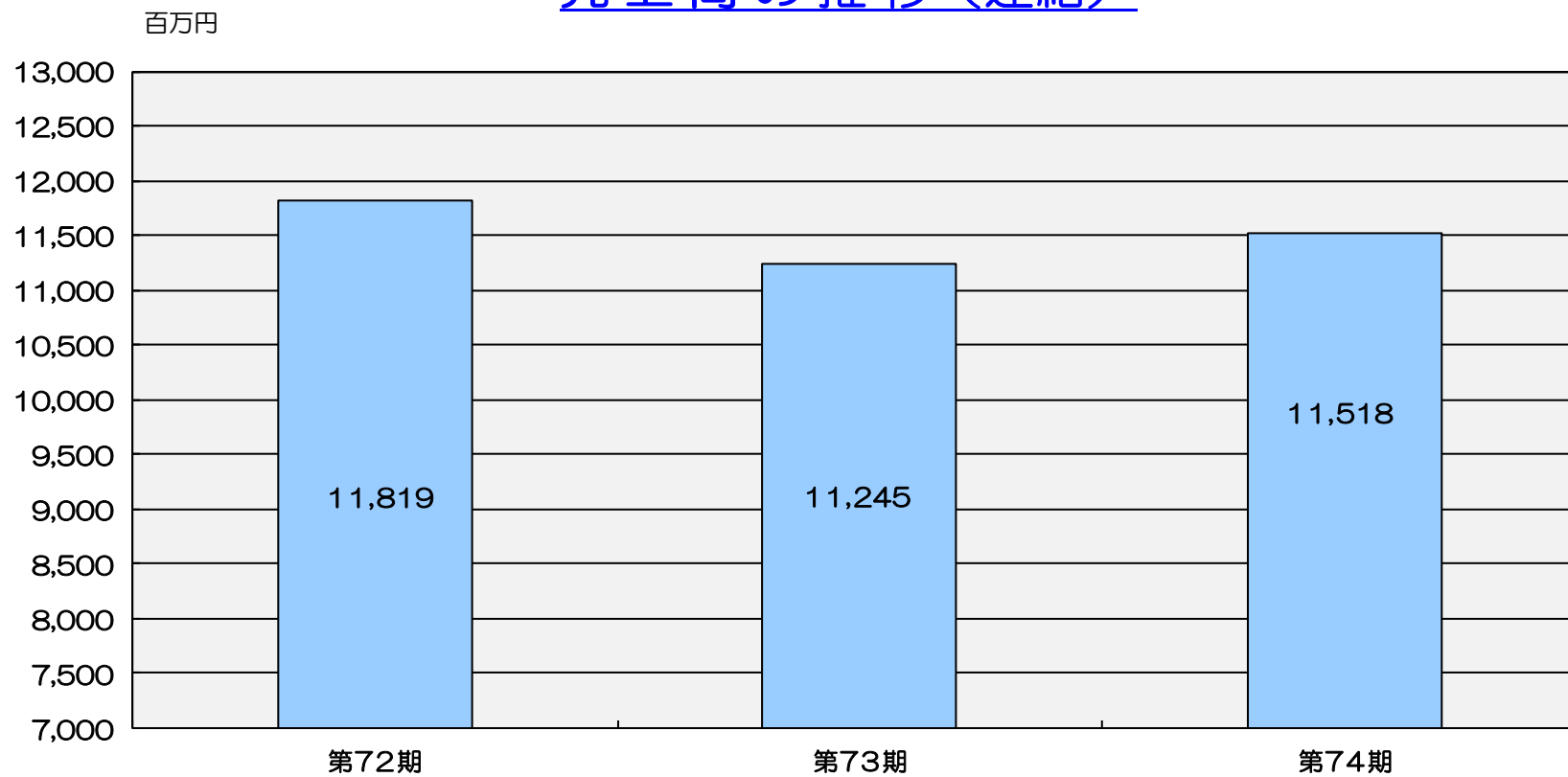
	株 主 資 本					計	そ の 他 包 括 利 益 累 計 額	非支配株主 持 分	純 資 産 合 計
	資 本 金	資 本 剰 余 金	利 益 剰 余 金	自 株 己 式					
当連結会計年度期首残高	2,244	2,901	3,720	△ 711	8,154	1,075	43	9,274	
会計方針の変更による累積的影響額			△1		△1			△1	
会計方針の変更を反映した当期首残高	2,244	2,901	3,719	△ 711	8,153	1,075	43	9,273	
当連結会計年度変動額									
剰余金の配当			△ 50		△ 50			△ 50	
親会社株主に帰属する 当期純利益			△ 62		△ 62			△ 62	
株主資本以外の項目の 当期変動額						52	△ 2	49	
当連結会計年度変動額合計	—	—	△ 113	—	△ 113	52	△ 2	△63	
当連結会計年度末残高	2,244	2,901	3,605	△ 711	8,040	1,128	41	9,209	

第74期 連結キャッシュ・フロー計算書

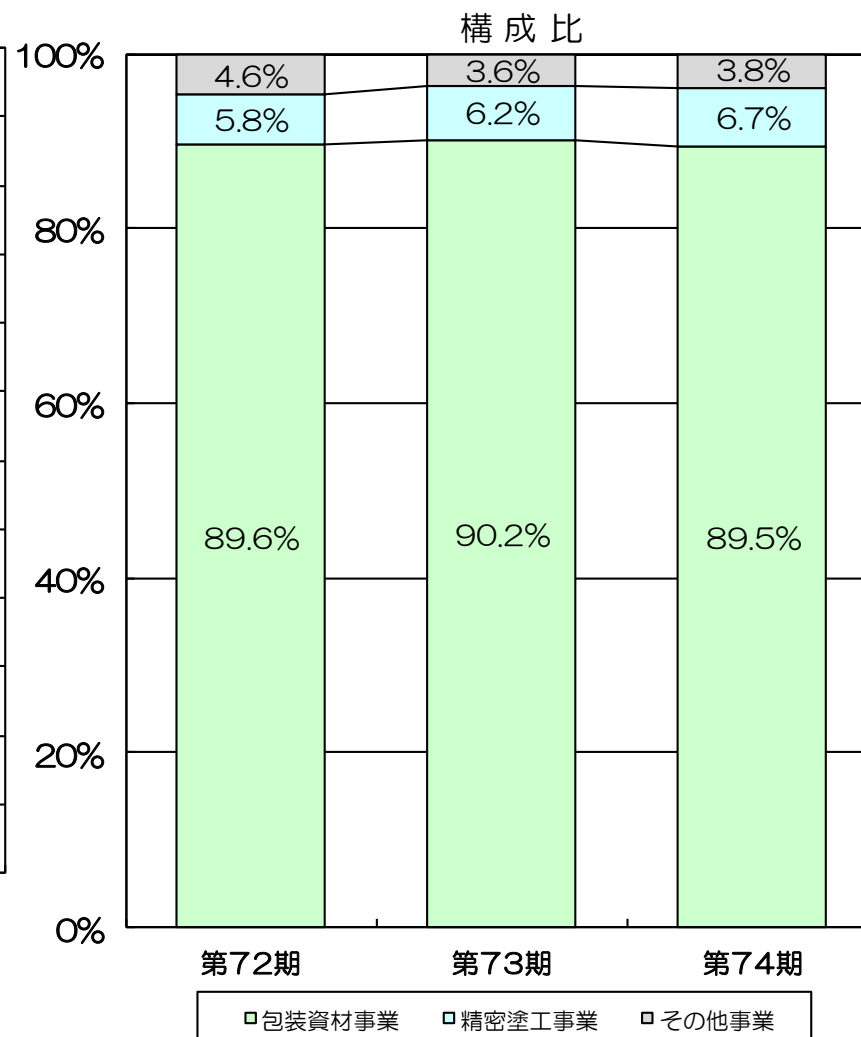
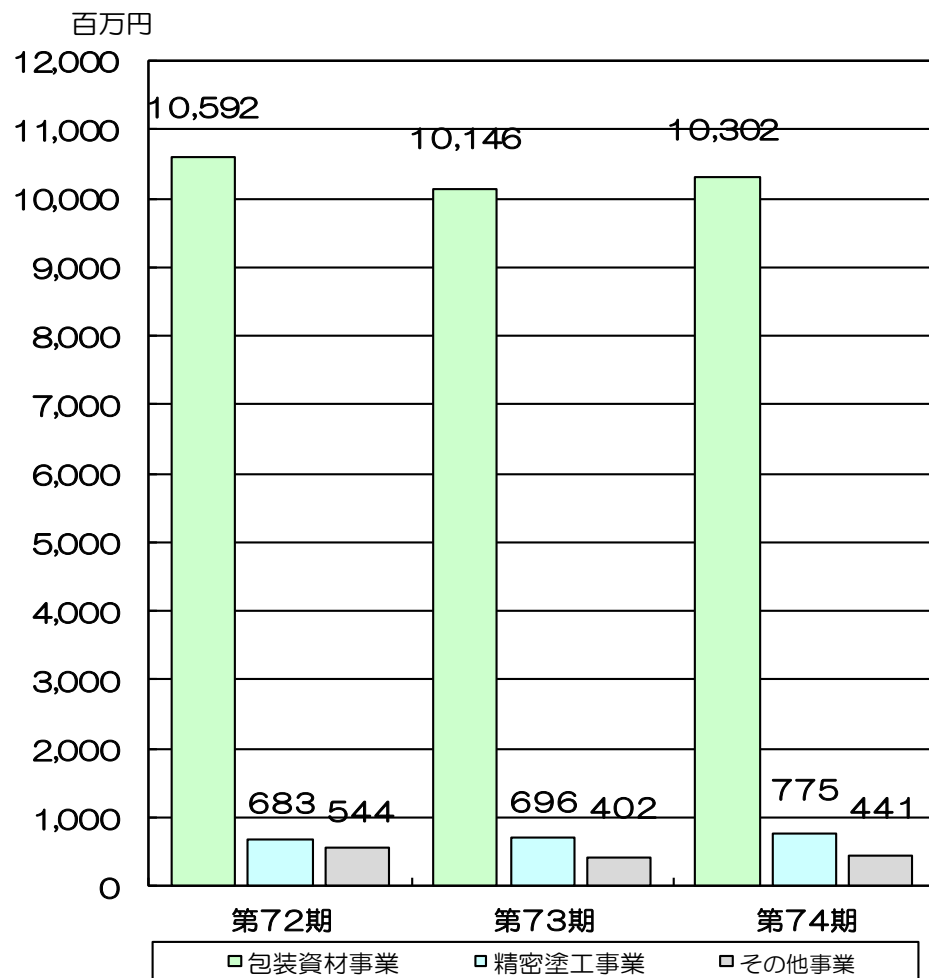
(単位：百万円)

	第73期	第74期	備 考
営業活動によるキャッシュ・フロー	829	852	減価償却費 862 売上債権の増加 △ 289 仕入債務の増加 213
投資活動によるキャッシュ・フロー	△770	△590	有形固定資産取得の取得 △ 526
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 41	△222	借入金の増減額 △ 170 配当金の支払額 △ 49
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 19	24	
現金及び現金同等物の増減額	△ 1	64	
現金及び現金同等物の期首残高	2,256	2,254	
現金及び現金同等物の期末残高	2,254	2,318	

売上高の推移（連結）

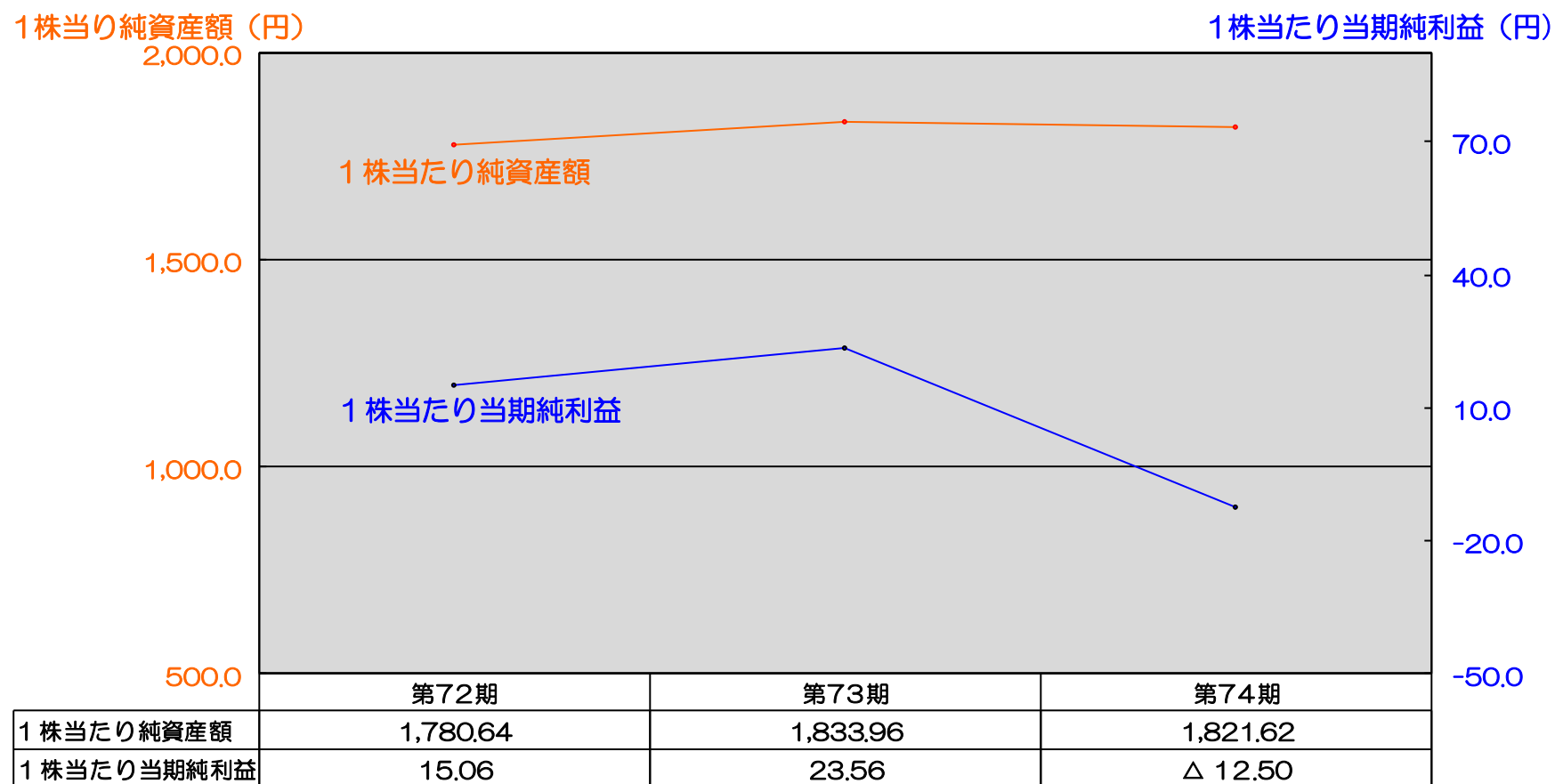


事業別売上高（連結）

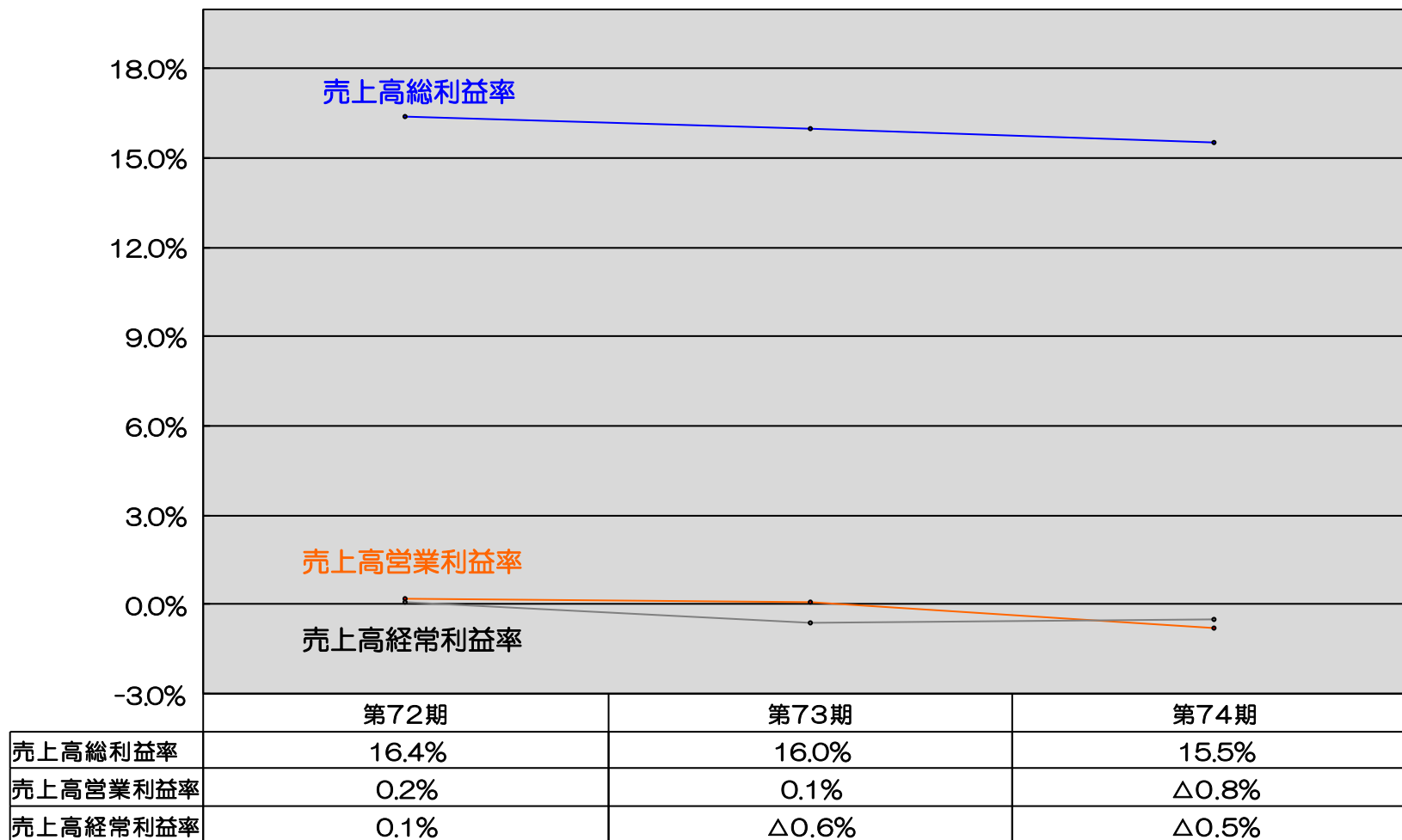


經營指標（連結）

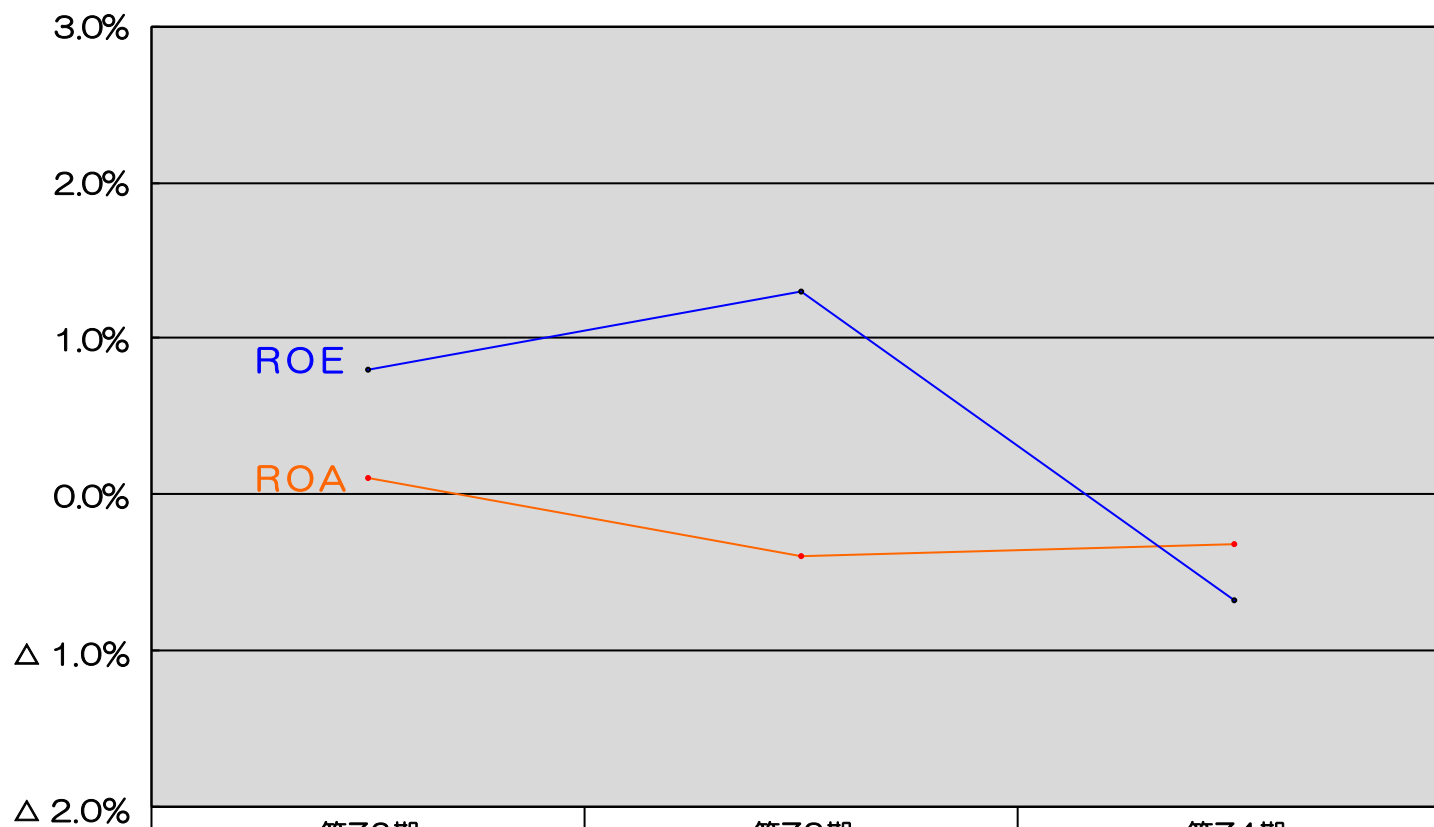
経営指標 I (連結)



経営指標Ⅱ（連結）



經營指標Ⅲ (連結)



	第72期	第73期	第74期
ROA(総資本当期経常利益率)	0.1%	△ 0.4%	△ 0.3%
ROE(株主資本当期純利益率)	0.8%	1.3%	△ 0.7%

第75期
(2023年3月期)

連結業績予想

第75期の業績予想について

今後の見通しについては、わが国経済は、新型コロナウイルス感染症が若干の落ち着きを見せるものの、依然としてインバウンド需要の回復は見込めず、また、渡航・外出の抑制や雇用・所得環境の悪化などによる個人消費の低迷などから主に非製造業を中心とした企業業績の不振が続くことを背景に、本格的な景気回復には時間を要することが予想されます。また、ロシアによるウクライナ侵攻や原油をはじめとする資源高、円安などを背景に不透明な経済状況が続くことが予想されます。

包装資材事業をめぐる情勢については、新型コロナウイルス感染症の一定の収束に今しばらくの時間を要すると見込まれることや雇用環境の悪化、少子高齢化の進行による将来不安、一般消費財価格の値上がりなどにより個人消費がさらに低迷する懸念もあり、厳しい事業環境が続くことが予想されま

す。このような状況の中、当社グループは、引き続き経営管理体制及び業務執行体制の強化を図り、厳しい事業環境に迅速に対応するとともに、お客様へ当社製品を安定的に供給するために新型コロナウイルス感染防止対策の徹底を継続しつつ、業容の拡大を目指し、新規分野の開拓、定期品の受注増大、環境や衛生面に配慮した材料・製品の企画提案、差別化された商品・技術の開発などで競争優位性の確保・拡大に注力してまいります。また、CO₂排出削減・廃棄物低減をはじめ、内部管理体制の強化、人材育成を通じたESG経営を実践・強化することで、持続的成長・企業価値向上に努め、SDGsに貢献してまいります。

包装資材事業については、まず営業面で、引き続き環境配慮資材や当社デザイン・構造設計に係る企画力並びに加飾技術力のアピールなど企画提案型の営業活動を継続的にきめ細かく実施し、新型コロナウイルス感染症拡大により売上が減少した化粧品分野を中心とした受注拡大、医薬品・食品・日用品分野の既存客先からの受注拡大とグローバル企業を含む新規客先の開拓、ラベル部門での新規分野・新規客先の開拓に積極的に取り組むとともに、採算性を一層重視した受注活動に注力してまいります。また、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）及びタイ現地法人（TOIN (THAILAND) CO., LTD.）は、既存客先からの増注を図るとともに、トーイングループの認知度アップを図りつつ、当社グループのさらなる連携強化と協力会社ネットワーク拡大を推進し、東南アジア全域の日系企業、外資系企業並びにベトナム及びタイ国内のローカル大手企業のさらなる開拓、増注を図ってまいります。

また、包装資材の周辺事業として、市場のニーズに即した製品の開発・販売や包装機械メーカーとのタイアップによる包装機械と包装材のセット販売などを模索してまいります。さらに、収益面においては、エネルギーや諸資材の価格上昇、物流コストの上昇に対して、お客さまのご理解をいただきつつ、諸施策を実施してまいります。

生産面においては、工場運営の効率化、省人化・省力化・省エネルギー化の推進、品質管理体制の一層の強化、DX推進による業務プロセスの改革と品質・生産性向上の検討、外部協力会社のネットワーク拡大等を推進するとともに、ベトナム現地法人（TOIN VIETNAM CO., LTD.）は、品質保証体制の再構築、新技術の習得、最適な材料調達ルート確立のための諸施策の実行と内部管理体制の改善・強化を継続し、収益基盤の安定化に努めてまいります。

精密塗工事業については、新たな商品開発での事業範囲の拡大を推進することなどで新規分野・新規客先の需要先の開拓に注力するとともに、生産面では、生産体制の整備を図り、引き続き高品質な商品提供ときめ細かなサポートにより売上の拡大・安定と収益性の向上による事業の安定化を目指してまいります。

その他事業については、デザインからアッセンブルまでの一貫受注体制をセールスポイントに、医薬部外品・化粧品・食品製造の許認可を活用しつつ、引き続き定期的な商品の受注拡大に注力してまいります。生産面では、フレキシブルな生産体制の編成、省人化・省力化等の推進により生産力の向上を図るとともに、HACCP取得により、お客様のニーズに対応した品質保証体制を一層強化し、コスト競争力の強化に努めてまいります。

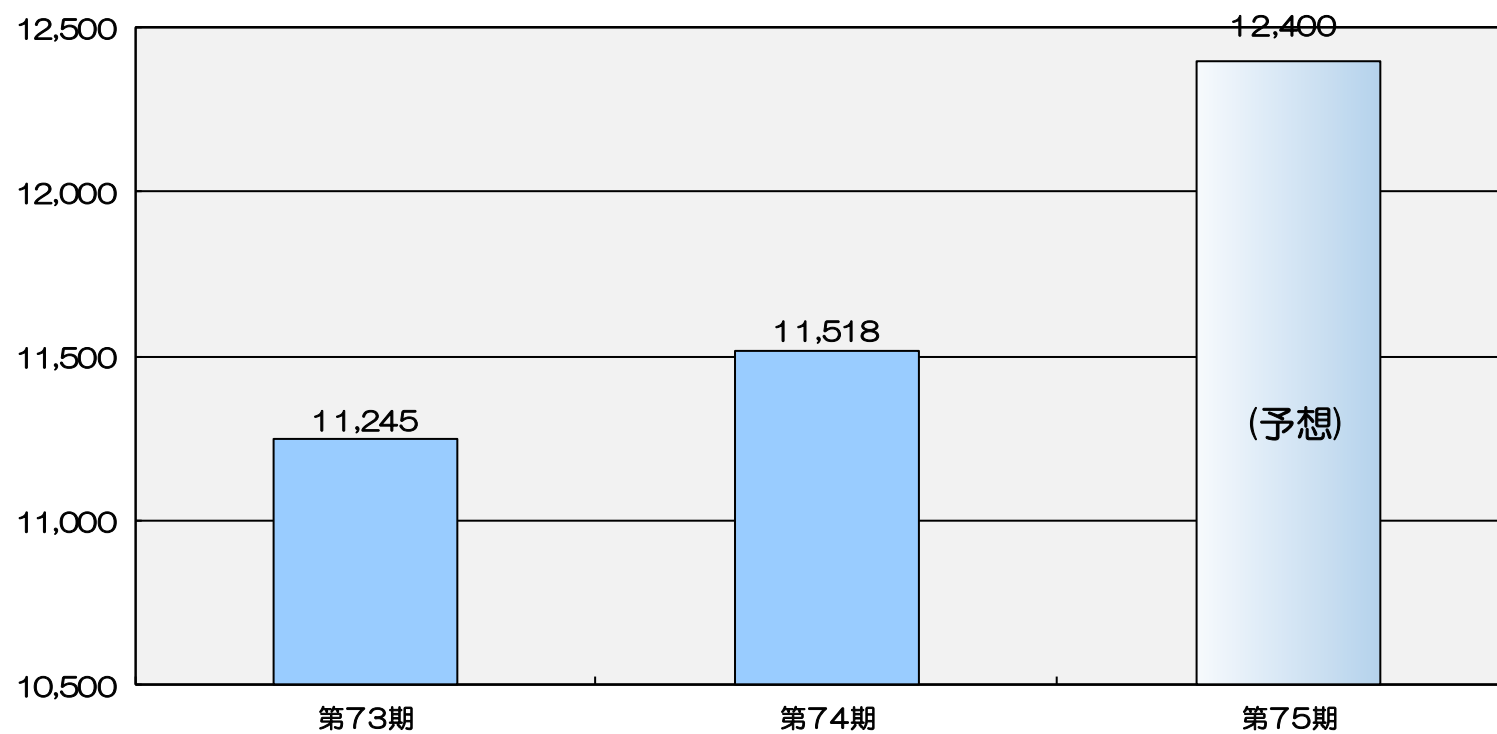
2023年3月期の連結業績見通しにつきましては、売上高12,400百万円、営業利益70百万円、経常利益70百万円、親会社株主に帰属する当期純利益10百万円を予想しております。

第75期の連結業績予想

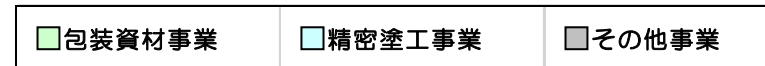
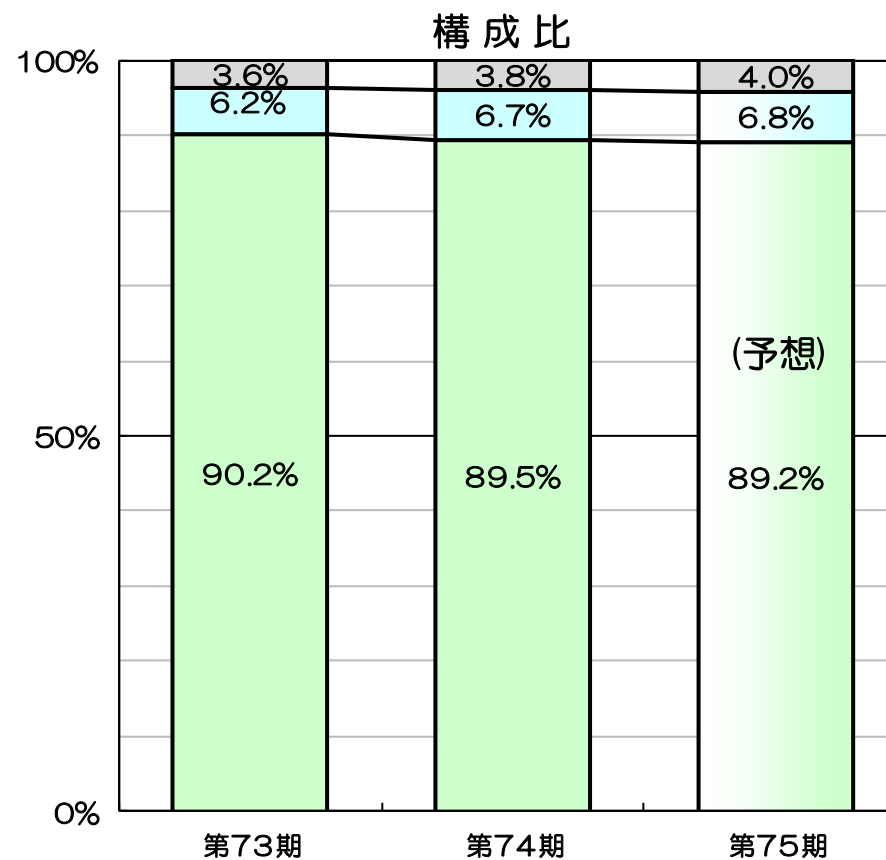
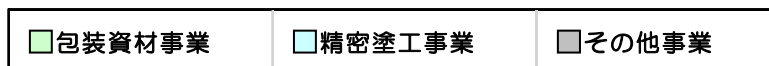
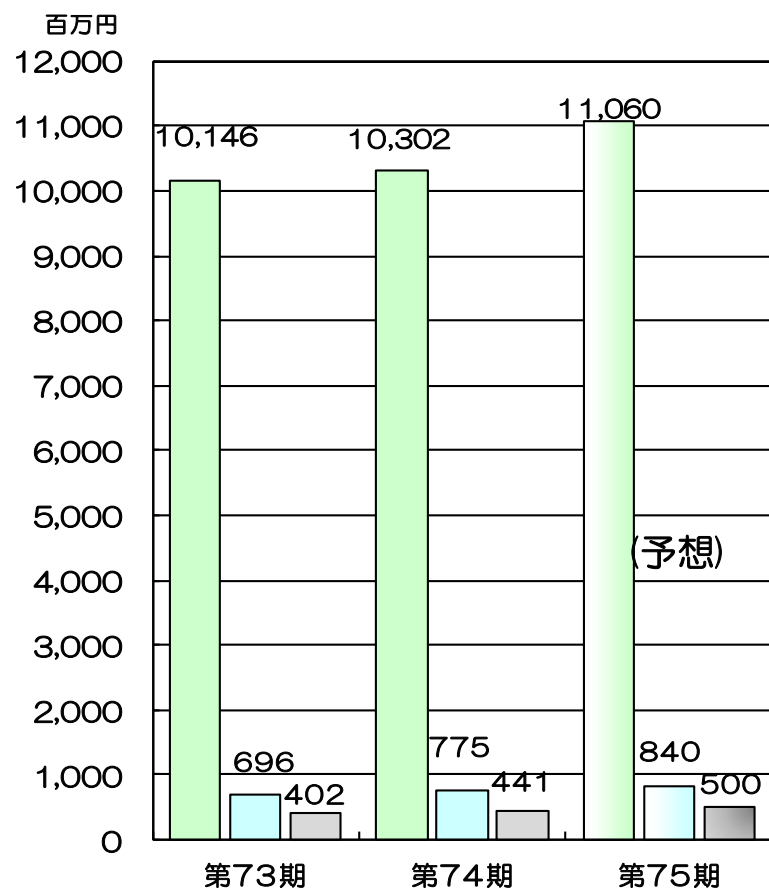
(単位：百万円)

	通 期(予想)	
売 上 高	12,400	% 100.0
営 業 利 益	70	0.6
経 常 利 益	70	0.6
親会社株主に帰属する 当 期 純 利 益	10	0.1

通期売上高(連結)



事業別売上高（連結）



経 営 方 針

当社は、経営理念に基づき、お客様の製品づくりや商品販売の一翼を担っているという誇りと責任感を常に持ち、

- ①包装資材事業を中心に、良質な製品を適時に、かつ、十分に供給いたします。
特に、環境や社会に十分に配慮した素材や製品を開発し供給いたします。
- ②長年の知識・経験と技術力をベースとして技術革新に挑み、「よきモノづくり」を極めること、きめ細かいサービス提供に徹することで、お客様のご要望にお応えすることを目指します。
- ③それらを進めることで、株主様、お客様、取引先様、地域社会の皆様、そして、従業員などのすべてのステークホルダーの皆様の多様なニーズに的確にお応えし、豊かな社会への貢献を目指します。

<経営理念>

- ・ お客様に学べ、それが社会への貢献につながる
- ・ 技術革新に挑め、それが会社の発展につながる
- ・ 夢と利益を追え、それが皆の幸福につながる

企業行動規範

- ① 私たちは、社会への奉仕と貢献、社会的信用を重視し、本業による適正な利益を追求します。
- ② 私たちは、未来の真に豊かな社会の実現のため、環境破壊と汚染の防止に積極的に取り組みます。
- ③ 私たちは、社会との良好な連帯に努めるとともに、反社会的な勢力および団体等と一切関係を持ちません。
- ④ 私たちは、法律・規則を遵守し、さらに社会的・道義的責任を自覚し、節度と良識ある行動に努めます。
- ⑤ 私たちは、重要な会社情報を最善の注意をもって取扱い、適時に開示します。また、インサイダー情報を不正に利用した株式の売買等を行いません。
- ⑥ 私たちは、お客さまに感謝の念と誠意をもって接し、お客さまの満足と信頼を大切にします。
- ⑦ 私たちは、時代の変化・要求をとらえた新技術、新製品を開発し、より良い製品とより良いサービスを社会へ提供して行きます。
- ⑧ 私たちは、礼節を重んじ、相手の立場を尊重し、より高い人格の形成と差別のない明るい公平な社会の実現に努めます。
- ⑨ 私たちは、「安全と健康は全てのものに優先する」を基本とし、より安全で快適な職場をつくります。
- ⑩ 私たちは、自らの専門技術と知識を高め、自由活発な意見交換を通じて、創造性豊かな、活力ある企業集団にします。

トーン株式会社

《事業所》

- ◎東京本社
〒136-0071 東京都江東区亀戸1-4-2
TEL：03-5627-9111(代) FAX：03-3638-1134
- ◎西日本支社
〒530-0047 大阪府大阪市北区西天満4-8-2
TEL：06-6136-4351(代) FAX：06-6136-4363
- ◎本店・柏工場
〒277-0804 千葉県柏市新十余二16-1
TEL：04-7131-2111(代) FAX：04-7132-6937
- ◎野田事業所
〒270-0237 千葉県野田市中里231-5
TEL：04-7120-8805(代) FAX：04-7120-8017
- ◎九州事業所



《子会社》

- ◎TOIN(THAILAND)CO., LTD. (トーンタイランド)
タイ王国バンコク市
- ◎TOIN VIETNAM CO., LTD. (トーンベトナム)
ベトナム社会主義共和国ビンズン省



《関連会社》

- ◎Printing Solution Co., Ltd. (PSC社)
タイ王国バンコク市

○ホームページURL <https://www.toin.co.jp>
 ○本資料に関するお問合せ
 経営企画部 TEL：03-5627-9111 FAX：03-3638-1131